

日本共産党市議団 9月議会一般質問

非核平和都市宣言30周年に ふさわしいとりくみを

佐藤よう子市議は市長に、核兵器廃絶の今日的意義について質問。市長の口からは何も語られませんでした。30周年記念事業としては「重点事業として位置づけ、写真展などのイベント、講演会、被爆者の証言DVDなどを考えている」と担当部長が答弁。災害時の水の安定供給のため、市内3カ所の浄水場の整備、飲用可能な災害時協力井戸の年1回の水質検査を求めました。



総務常任副委員長
佐藤よう子
TEL(797)5948



建設常任委員
とのむら健一
TEL(793)5458

労働者の生活の向上へ 「公契約条例」の制定を

とのむら健一市議は、自治体が発注する工事や業務などの契約において、労働者の賃金が切り下げられないように、野田市などで施行されている「公契約条例」の制定を求めました。財政部長は、「先進自治体や国の動向を踏まえて研究する」といって答弁にとどまりました。業務委託の入札に最低制限価格設定を導入せよとの質問には、「早急に導入したい」と答えました。町田市基本計画（10年プランと5カ年計画）の策定にあたっては、「市民のいのちとくらしを守ることを中心に位置付けるべきと要求。新庁舎の建設による交通渋滞と住環境悪化の解決を求めた質問については、「警視庁と協議する」と答えました。

無料 法律相談

11月9日(水)・24日(木)・
12月14日(水) 14時から

場所 市役所5階日本共産党控室(12月14日は場所未定)
予約が必要です。TEL042(723)6312
か各市議へご連絡ください。

介護保険料の 大幅値上げはやめて

細野りゅう子市議は、来年度見直される介護保険料の値上げをしないよう求めました。現在より30%もの値上げになる可能性もあり、高齢者のくらしを脅かすこととなります。現行制度では、保険料を抑えるためには、基金を取り崩すしかありません。本来負担すべき交付金や市の負担金の増額など、あらゆる手段を講じて値上げを押さえるよう求めました。いきいき健康部長が「介護保険料は、これから検討する」と答弁。値上げを中止させるため、市民の声を届けましょう。



健康福祉常任委員
細野りゅう子
TEL(796)8163



文教社会常任委員
池川友一
TEL(734)1116

認可保育所の増設で 待機児ゼロに

池川友一市議は、認可保育所増設を軸にした待機児ゼロ対策を求めました。2012年～14年の3カ年で851人の定員増が明らかになりました。また、小山保育園に病後児保育が設置されます。保育所の子ども一人あたりの面積基準を引き下げるべきでないといいましたが「一定期間、面積基準を緩和するのが現実的な方法の一つ」という方向が示されました。

他にも、地域防災計画の見直しや再生可能エネルギーの普及について質問をしました。

小学校給食の 民間委託はやめよ

佐々木とも子市議は、児童・生徒の安心・安全な学校生活を支える給食調理員や用務、事務職は、民間委託や再任用、嘱託職員に置き換えるべきではないと質しました。学校教育部長は、いま小学校42校の正規給食調理員は61名、再任用20名、嘱託(パート)162名で、今後、退職者不補充で給食を安定的に提供するためには、調理員の委託導入を検討する、保護者の意見は学校給食問題協議会を開いて伺うと答えました。



文教社会常任委員
佐々木とも子
TEL(793)4137

室内プール駐車場有料化の条例が 共産党以外の賛成で可決

「新5ヶ年計画」(案)では
スポーツ広場や学校開放の有料化も!

「受益者負担の適正化」の名のもとに、公共施設などの値上げと有料化がすすめられています。

2011年3月議会では、公民館の有料化と地域センターなどの値上げが行われましたが、今議会では市立室内プール駐車場の有料化、町田市立総合体育館と成瀬クリーンセンターテニスコートの駐車場の値上げが、日本共産党以外の賛成多数で可決されました。プール駐車場の有料化は、近隣自治体を参考にしたいといいますが、相模原市は無料です。

さらに、市は、公園駐車場を有料化する条例を12月議会に提出する方針であることが建設常任委員会で明らかになりました。公園は市民の憩いの場であり、市外からも多く訪れます。公園は市民の憩いの場であり、市外からも多く訪れます。公園は市民の憩いの場であり、市外からも多く訪れます。

「市民協働」を掲げながら実態は「市民負担増」——こうしたやり方は絶対に許されません。「受益者負担の適正化による市民負担増はやめよ」の声をあげ、撤回させるために力を合わせましょう。

12月議会で有料化・値上げが計画 されている公園駐車場(1579台)

【市直営】忠生公園、真光寺公園、山王塚公園、薬師池公園、芹ヶ谷公園。
【指定管理】日向山公園、小野路公園、相原中央公園、野津田公園、町田中央公園、鶴岡公園。

(2011年第3回定例会建設常任委員会行政報告より)

「高齢者医療費助成」(日本共産 党提出) 条例が否決に

日本共産党市議団は、昨年12月議会に、高齢の低所得者の医療費を無料にする「高齢者の医療費の助成に関する条例」を提出しました。健康福祉常任委員会で毎議会「国の動向を見て」という理由で継続されてきましたが、今議会でも共産党を除く反対多数で否決されました。

来年「後期高齢者医療」保険料が17%も値上げされる試算が、東京都広域連合より示されました。町田市の65歳以上の介護保険料も大幅に値上げされる見通しであり、このままでは高齢者のくらしはますます大変になります。医療がもっとも必要な高齢者世代が安心して医療を受けられるようにするため、高齢者医療費の負担を無くすことは切実な願いです。高齢者医療費の負担軽減や後期高齢者医療保険料の値上げ中止を求めて、日本共産党は引き続きがんばります。

9月補正

余ったお金は市民の暮らしに使うべき

一般会計9月補正予算の総額は49億7千万円ですが、家具転倒防止器具助成など災害対策関連予算は、わずか6千4百万円ほどで、前年度余剰金や地方交付税などから40億円が基金に積み立てられました。また、地元プロサッカーチームJリーグ昇格のために、野津田陸上競技場整備費として5億1千万円を充当。来年度を含めると総事業費は約40億円になります。日本共産党は、余ったお金は、震災や原発事故から市民のいのちを守ることやゴミ袋代の更なる値下げ、子ども医療費完全無料化などに最優先に使うべきであると、一般会計補正予算に反対しました。